第 23 回長野県ジュニア空手道選手権大会出場にあたっての注意事項

長野県空手道連盟

1 出場者への注意事項

⑴ 当日、新型コロナウイルスの感染者、および発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合、体調がよくない場合は参加・入館を認めない。
本大会の出場は前日から大会期間内に抗原検査を行い、陰性を確認できた者の出場を認める。
抗原検査は各自で薬局もしくは購入して行い、抗原検査の結果は大会前日からのものを有効とする。（当日 2000 円で受付での購入も出来ます。）
購入した検査キットを来場前に使用した場合は、検査結果と日時の証明できる物と並べて撮影し、当日受付で提示して下さい。

⑵ マスクを持参し、競技を行っていない際にはマスクを着用すること。

⑶ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

⑷ ドリンクボトルやタオルの共用はしないこと。

⑸ ゴミ（特に鼻水、唾液等がついたもの）は全て、ビニール袋に入れて密閉し各自持ち帰ること。下足用レジ袋を各自持参のこと。

⑹ 整列時、他の選手等との距離（最低１ｍ）を確保し、大きな声で会話、応援等をしないこと。

⑺ 大会終了後７日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに所属団体長に申し出ること。
これを受けた所属団体長は直ちに大会主催者に報告すること。

⑻ 来場者（保護者を含む）は、大会主催者が定める感染症対策及び注意事項を遵守すること。

⑼ 赤帯・青帯の貸与はしません。各自で用意をしてください。

2 長野県空手道連盟がおこなう感染症対策

⑴ 常時２方向の窓を開けて換気を行います。

⑵ 受付及び会場内にアルコール消毒液を設置します。

⑶ 常時マスクを着用し、選手も競技以外の場所ではマスクを着用とします。

⑷ 出場選手の家族１名(オフィシャル役員の家族は除く)のみとし、座席については、隣の方とは最低１席程度を空けて座り、前列の方とは被らないように着座。

⑸ 入館時に大会役員・審判・出場選手・保護者の検温を行い「健康観察シート」または「観戦者連絡先記入表」を回収します。発熱がある場合は、大会への参加、観戦はできません。

⑹ 会場内での飲食は認めない。(水分補給は可)

3 競技上の感染症対策

⑴ 競技中もマスクを外さずに行う。

⑵ 形競技について、形名・気合いは入れてよい。(入れなくても減点にはしません）怒鳴るような呼称はせず抑えた発声とする。

⑶ 組手競技について、面補はメンホーシールドやラップ等で口を塞ぐ。マスクを外さずに面補を装着した場合はメンホーシールドやラップ等は外しても良い。選手間でのハイタッチや握手はしないようにしてください。

4 参加団体への注意事項

⑴ 感染症の拡大状況等によって、会場の使用禁止の場合は大会を中止する場合があります。

⑵ 所属団体で、出場選手の検温結果及び健康状況等を把握した上で大会に出場してください。

⑶ 出場選手・役員は大会当日までの７日間、健康観察を行ってください。「健康観察シート」を入館時に提出するよう伝達してください。
入館者（保護者等）は「観戦者連絡先記入表」を入館時に必ずご提出ください。以上提出が無い場合は入館をお断りします。

⑷ 団体長は、保護者についても入館者連絡先記入表の事前配布・記入、当日入館時に提出するよう伝達してください。

⑸ 大会終了後７日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した選手・保護者がいた場合，所属団体長は、速やかに信州松涛館事務局長へ報告してください。

⑹ 審判役員はマスクを持参してください。

※ 入館時間は 出場種目開始一時間前とします。分散入館にご協力ください。
なお、試合が終了した選手・保護者につきましては速やかに会場よりの退出をお願いします。